

抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体) 測定試薬抗原変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、測定委託先より下記に掲げる検査項目におきまして、測定試薬に使用されている抗原が変更になり、検査値が変動する可能性がある旨の連絡を受けましたのでご案内申し上げます。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬白

記

■実施日 平成 25年 11月 1日(金)ご依頼分より

■変更項目および変更内容

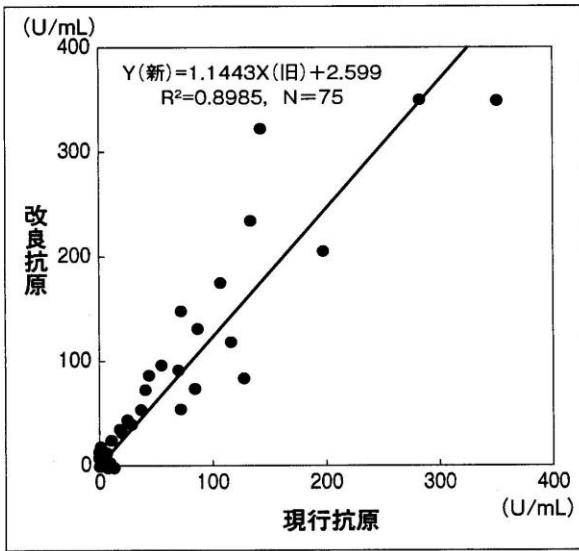
案内書 掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	変更箇所	新	現	備考
68	2269 5G420	抗糸球体基底膜抗体 (抗GBM抗体)	検査方法	CLEIA [医学生物学研究所]	CLEIA [医学生物学研究所]	測定委託先における変更のため。

* 検体量、基準値等の検査要項に変更はございません。

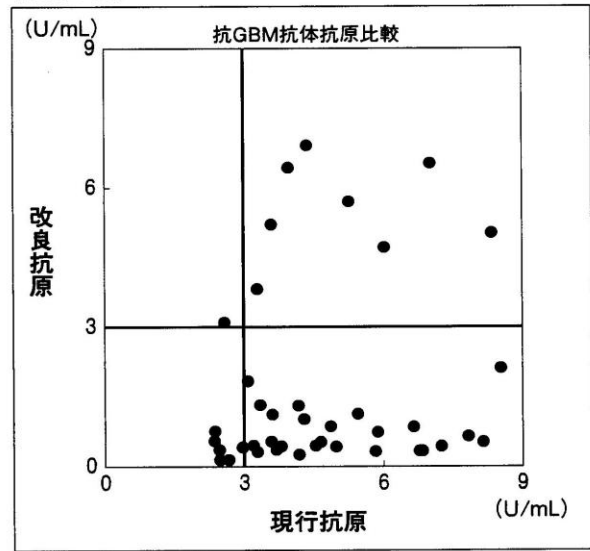
※裏面にも案内がございますので、ご覧ください。

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは当社インフォメーションまでお申し付けください。

[全体]



[低値域]



[判定一致率]

		改良抗原	
		陽性	陰性
現行抗原	陽性	38	30
	陰性	1	6

陽性一致率：55.9% (38/68)
 陰性一致率：85.7% (6/7)
 判定一致率：58.7% (44/75)

結果解釈

- ① 現行の抗原陽性、改良後の抗原陰性の30例は、蛍光抗体法ですべて陰性となりました。
- ② 現行の抗原陰性、改良後の抗原陽性の1例は、阻害試験で抑制が確認されたため、抗原特異反応と推測されます。

現行抗原で低値陽性の検体で陰性化が多く見られますが、抗原の改良からより特異度が向上した結果と思われます。